

はじめの一步に

牛久市のゴミの量をお知らせします！



問 農業政策課
☎内線1811、1812

初夏の青空の下、茨城農芸学院の生徒が、うしくグリーンファームの大根収穫作業を体験しました。これは、社会復帰直前のカリキュラムの一環として実施されたものです。



生徒たちは説明を受けた後、大根の抜き取りやトラックへの積み込みを手伝いました。普段から農作業をしているだけあって2人とも手際が良く、グリーンファームの社員が驚くほど。時折笑い声もあがる和やかな雰囲気の中、次々と大根が出荷されました。

同学院は半世紀以上にわたって牛久と共に歩んできた矯正施設です。グリーンファームが同学院の研修農場を取得したことが縁となり、小さな交流が始まりました。2人は「楽しかった。またやってみたい」「やりがいがありました」と笑顔でコメント。この体験が、生徒たちの社会復帰への後押しとなることを願ってやみません。



問 廃棄物対策課☎内線1571～1573
牛久クリーンセンター☎830-9333

◆家庭ごみの市民一人当たり排出量

	平成26年度	平成25年度	前年比(26-25年度)
1人当たりのごみ排出量(年)	223.5kg	226.4kg	-2.9kg
1人当たりのごみ排出量(日)	612.4g	620.3g	-7.9g

◆牛久市の家庭ごみの排出量 (単位：トン)

	平成26年度	平成25年度	前年比(26-25年度)	増減率
可燃ごみ	17,306	17,301	5	0.02%
不燃ごみ	978	1,050	-72	-6.9%
白色トレイ	15	15	0	0.0%
粗大ごみ	535	621	-86	-13.8%
ごみ計	18,834	18,987	-153	-0.8%

※クリーンセンターへの直接搬入分を含みます。

※1人当たりの排出量は平成25年度9月末83,855人、平成26年度9月末84,252人を基に算出しています。

全体的にごみは減っているけれど…

みなさんは、一年間で、牛久市の家庭からのぐらいいのごみが出されているかご存知ですか？平成26年度に家庭から出されたごみの量は、上記の通りです。

平成26年度の家庭ごみは、1万8834トン(前年度比153トン減)でした。市民1人1日当たりの排出量は612.4g。おにぎり为例えると、約6個分ものごみを毎日出していることになりました。前年度と比べると7.9gの減少となりましたが、当市の減量目標値は531.6g(平成27年度)です。ごみが減ると、収集経費の削減、クリーンセンターの延命化につながるため、目標値に向

「雑紙」を可燃ごみの中に入れてください！

かつて、一人一人がごみを減量する工夫や意識を持つことが大切です。

では、ごみを減らすにはどうしたらよいでしょうか？可燃ごみの中に、資源となるものを入れていませんか？特にティッシュの空き箱やトイレットペーパーの芯など、資源となる「雑紙」が多く出されています。ごみとして出す前に、資源になるかを考え、きちんとした分別をすることで、ごみの量を減らすことができます。紙は資源として生まれ変わりますので、分別・リサイクルにご協力ください。広報うしく10月1日号の当コーナーでは、なかなか知られていない「雑紙」について詳しくご紹介します！